

「統計データ分析コンペティション2026」受賞者及び受賞論文

～ 高校生の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル及び概要)
【総務大臣賞】 下津 琉生 (慶應義塾湘南藤沢高等部)	保育環境と人口移動・出生状況の関連 全国の市区町村を対象に、保育所や医療施設の密度と人口移動・出生率との関係を検証した。自治体を類型化して分析を行い、雇用、住宅、交通等を含めた今後の改善について示した。
【優秀賞】 長田 遥 (渋谷教育学園渋谷高等学校)	人口減少市区町村における洪水曝露人口割合の上昇 ー2000～2020年の区域別人口・世帯変化ー 地域メッシュ統計を用いて、浸水深3m以上区域人口とその割合の変化から、人口が減少した全国の市区町村を分類化し分析を行い、洪水曝露を評価する際には、同区域内人口の割合と同区域内外の人口・一般世帯数の確認を要することを示した。
【統計数理賞】 高柳 梁司 (埼玉県立伊奈学園総合高等学校)	若年女性の自殺死亡率の反転と地域差 人口動態統計を用いて時系列データを作成し、ポアソン回帰で分析を行い若年女性の自殺死亡率が上昇に転じた変化点を推定し、転換は単一の世代効果では説明できないことを示した。
【統計活用奨励賞】 中島 諒 (慶應義塾湘南藤沢高等部)	水道管更新に影響する要因の分析と持続可能な管路管理の提案 全国の末端給水事業体を対象に、年平均管路更新延長データを用いて、人口や経営条件等との関係について分析を行った。各事業体の状況に応じた持続可能な管理を検討するため、分散型給水や管網再編の選択肢を示した。

「統計データ分析コンペティション2026」受賞者及び受賞論文

～ 大学生・一般の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル及び概要)
【総務大臣賞】 栗田 煌矢(東北大学) 栗田 蓮矢(名古屋大学)	育児支援と合計特殊出生率の関連の地域異質性 —都道府県パネルデータによる階層ベイズ分析— 47都道府県のパネルデータを用いて、育児支援と合計特殊出生率の関連について、都道府県内の変化と都道府県間の差を区別して、多様な視点で分析を行い、全国一律ではなく、地域差を考慮した施策の評価の必要性を示した。
【優秀賞】 川野 順平、小野田 琢人、 的場 貴大 (早稲田大学)	熱中症搬送者数の地域差に関する要因分析と示唆 47都道府県を対象として、熱中症救急搬送者数と暑さ指数(WBGT)の関係を6万件を超えるデータを分析して検証をし、搬送者数の増加傾向が変化する変化点を推定した。地域の特徴に応じて早めの注意喚起や準備を要することを明らかにした。
【統計数理賞】 濱中 祐人、玉井 貴大 (同志社大学大学院)	水道管路更新における実行基盤の実証分析 全国の水道事業者を対象に、事業者内部の人的体制等や地域の施工環境と管路更新実績との関係を定量的に比較した。Tweedieモデルも活用して検証を行い、広域連携への取組を示した。
【統計活用奨励賞】 保延 荘志 (北海道大学大学院)	寒冷地の超過光熱費の推定と寒冷地手当制度の検証 —暖房度日を用いた47都道府県分析— 寒冷地の暖房需要によって生じる水道・光熱費について、47都道府県のデータを用いて横断面回帰分析を行い、「暖房度日」や「冷房度日」を設定した上で客観的な指標に基づく議論の可能性を示した。

「統計データ分析コンペティション2026」

【高校生の部】

～審査員奨励賞～

受賞者	受賞論文(タイトル)
池田 桜子 (雙葉高等学校)	都道府県別キャッシュレス決済割合と地域特性の関係 —小売店舗、高齢化、人口密度、所得、世帯構成に着目した分析—
香川 恵輔 (愛光高等学校)	小中学生の体力格差の要因と改善策 —全国体力調査と地域統計を用いた機械学習分析—
後藤 慧至 (東京都立小石川中等教育学校)	可処分時間の「長さ」と「使い方」は地域経済とどう関係するか
藤田 ゆう (早稲田大学系属早稲田実業学校高等部)	女性の正規雇用率・L字カーブ問題の地域差
松本 春飛 (京華高等学校)	出生の地域差はどの階層で生じるか —1740 市区町村の階層ベイズモデルによる分解—
四方田 日和、長谷川 涼 (本庄第一高等学校)	地域子育て支援供給は需要規模に追いついているか 全国47都道府県の 需要-供給スケーリング分析と埼玉県63市町村の小地域補正

～学校表彰～

受賞校

慶應義塾湘南藤沢高等部、東京都立小石川中等教育学校、雙葉高等学校、
早稲田大学系属早稲田実業学校高等部

「統計データ分析コンペティション2026」

【大学生・一般の部】

～審査員奨励賞～

受賞者	受賞論文(タイトル)
秋元 一輝 (日本電気株式会社)	災害時受援計画策定の関連要因 —自治体特性・近隣自治体・都道府県の関連に関する段階的分析—
内村 勇希、友田 大貴 (大阪大学)	いじめ対策機関の設置はいじめ状況を改善させるか
小貫 宗燦 (京都大学大学院)	人口当たり犯罪率の罫 —都市スケーリング則から見た都道府県別犯罪件数の非線形関係—
後藤 隼人、Lu Jiajie、竹内 陸生、 武井 奈々子、LI YIHAN (上智大学大学院) 竹内 悠人、宮島 滯 (上智大学)	全国市区町村における産業・生活環境と人口移動 —ベイズ法を用いた負の二項・ベータ二項回帰分析—
酒井 洋憲 (一橋大学大学院/山梨県高度政策推進局東京事務所)	ふるさと納税で受け入れた寄附金の行方を探る —市町村パネルデータによる基金と支出の分析—
與谷 和真、松本 義弘、瑞慶山 良太、 呉屋 太造 (琉球大学病院)	働く世代を高血圧で取りこぼさないために —47都道府県からみた地域格差要因の探索—